

晃の園だより

<http://www.surugakai.net/hikari/>



暑さも忘れて真剣勝負

いよいよ夏本番。今年は例年にも増して暑さの厳しい日が続きます。日に何度も『暑い！』と口に出してしまうのですが、そうすると脳が言葉のイメージに反応してしまします暑く感じるようになってしまうそうです。ここはあえて暑さを無視して、無理してでも涼しい顔をしている方がいろいろな意味でいいのかもしれないね。

真夏の強烈な陽射しはここ晃の園にも毎日降り注いでいます。勿論建物の中は空調のおかげで暑い思いをすることは無いのですが、それでも夏を意識しない日はありません。暑さ対策は万全に、でも夏から眼をそむけるばかりでもなく、さりげなく季節も感じていただく。そんなふうに毎日を送っていただければと思います。まだまだ夏はこれからが本番です。

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



ショートステイの廊下に職員が撮影した水中写真を展示しました。ジメジメした梅雨時に少しでも爽やかな雰囲気を味わってもらえると嬉しいです。



梅雨の合間の晴れた日に屋上で見かけた光景です。写真を撮られていることに気づいていない二人は、のんびりと心地よい空気を楽しんでいました。



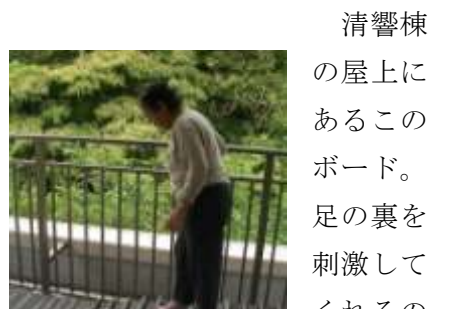
毎週末に開催されるボランティアさんの喫茶で昔の知り合いと再開し、話に花が咲きました。楽しい時間を過ごした証拠はこの笑顔！次回が楽しみです。



ショートステイで利用者様同士での将棋の対戦が始まりました。お二人とも口も利かずに黙々と駒を進めます。真剣になれる時間って楽しいですね。



梅雨の中休みに近所まで散歩に出掛けてきました。満開のあじさいに囲まれておもわず笑顔がこぼれます。短い距離で大きな楽しみのあった散歩でした。



清響棟の屋上にあるこのボード。足の裏を刺激してくれるのです。試しに歩いてみた入居者様は「イタタッ！」と言いながらも笑っていらっしやいました。

行事のお知らせ

- 夏祭り 平成22年8月21日（土）15時～19時
- 敬老会 平成22年9月12日（日）（別途案内状を送付させていただきます）

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは
☎ 054-270-1210
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>
Eメール hikarinonsoho@surugakai.net



流しそうめんて涼を感じる

恒例だからこそその楽しさと嬉しさ

梅雨明けを意識し始めるころになると、毎年恒例のあのイベントが始まります。そうです、流しそうめんイベントが。今年も新樹棟を皮切りにデイサービス、清響棟そして樺棟と順番に流しそうめんイベントが涼しげに賑やかに行われました。



会場となったのは各棟それぞれのお気に入りの場所です。新樹棟は半円形が素敵なウッドテラスで。清響棟はデイルームや解放感溢れる屋上空間で。そして樺棟は伝統の中庭で、真新しい竹製の桶に清流を創り出し、ま白いそうめんを流しました。



楽しみかたも色々

場所も様々なら楽しみ方も色々でした。お昼の食事として楽しんでいたり、3時のおやつとして楽しんでいただいたり。流すのもそうめんだけでなく、果物や菓子など楽しみもたっぷりと流してみました。特に今年が初めての流しそうめん開催となった清響棟二階では、選ぶのに迷うほどの薬味や桶に浮かべた新鮮な野菜たちも用意したりと、今までのうっ憤を晴らすかのように趣向を凝らした開催となりました。

楽しい恒例イベントを影で支えてくれた管理人さん

今年も沢山の笑顔を作り出し、沢山の思い出を残してくれた流しそうめんイベント。今回も準備に奔走してくれたのは我々が管理人さんでした。必要な準備は前日までに完璧なまでに完了させ、当日に流しそうめんが行われている最中には次の準備のために裏山で新たに竹を切りだす。徹底したその仕事内容、そして徹底したその裏方ぶりは本当にかっこいいのです。管理人さんありがとうございました。



嬉し楽しいお買いもの

衣料品店さんにご協力いただき園内で販売会を開催しました。チラシやポスターなど事前のお知らせの成果もあって、当日前から楽しみにされていた入居者様も沢山いらっしゃったようで、当日は開店と同時に販売会場は大賑わいとなりました。



「半そでがいいかしら?」「これもいいけど派手だね。」などと真剣に悩まれている姿はお洒落を楽しむ女の子のようです。ピンクのシャツを持って「これすごくいい色だけど派手じゃない?」しばらくみつめられ、「これがいいな。」とおっしゃりお買い上げされる方の姿も。とても楽しい時間を過ごしていただくことが出来たようです。



出張ラーメン屋さん 樺編

給食業者さんに協力いただき、出張ラーメン屋さんを今回は樺棟で開催しました。

調理の音・香り・様子の他に、雰囲気満点の暖簾や職員扮する元気いっぴいの店員さんの演出効果も加わり、さながら本物のラーメン屋さんを訪れたような雰囲気を楽しんでいただくことが出来ました。

この日のことを楽しみにしていたある入居者様は、いつもは食事の量が少ないのですが、この時ばかりはラーメンを完食されていました。食べ終わった後にいただいた「ラーメン美味しかったなあ、また食べたいな。」のお言葉は次回開催への原動力とさせていただきます。



ベッドをご寄付いただきました

晃の園で長く生活されていた入居者様とご家族様から、介護用ベッドを寄贈していただきました。



高さを調整できるベッドは入居者様と職員双方で身体的負担の軽減が得られます。『お世話になった職員さんにも喜んで欲しい』そういった意向から実現した今回の介護用ベッドの寄付。長く長く使えるように大事に大切に使用させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。



福祉用具の導入を考える その②

入居者様と職員双方の安心と安全を実現するための福祉用具の導入検討。その計画を前進させるため今回はこれらを積極的に導入している施設を見学し色々な話を聞いてきました。

資金計画に職員の教育や配置など。福祉用具を導入して継続的に活用するために関係するとされる項目は少なくありません。あらかじめそれらの全体像を把握し、相互の影響を考慮して運用計画を包括的に作成することの大切さを実感できた今回の見学でした。『福祉用具の導入自体を目的としてしまわないこと。あくまでもよりよい介護の実現手段のひとつとしてとらえ続けること』という見学先の施設長さんの言葉がとても印象的でした。今回の見学を今後の活動に活かしていきたいです。



快適な生活を続けるために



- 樺棟西側の食堂でひび割れの発生したガラスを交換しました。(写真左)
- 駐車場の陥没部を補修しました。(写真右)

